

自己評価報告書

平成 23 年 3 月 15 日現在

機関番号：34316

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2008～2011

課題番号：20530174

研究課題名(和文) ベヴァリッジの研究を核とした福祉国家の起源と現代性の探究

研究課題名(英文) An Inquiry into the origin and the reality of the Welfare State, based on my Study on Beveridge

研究代表者

小峯 敦(KOMINE ATSUSHI)

龍谷大学・経済学部・教授

研究者番号：00262387

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：経済学 経済学説・経済思想

キーワード：ベヴァリッジ、ケインズ、福祉国家、1920年代、ラヴィントン

1. 研究計画の概要

福祉国家はどこから始まり、どこに行くのか。本研究は次の二方向から、**福祉国家理念の起源と現代性を確定する試み**である。第1に、1880年代から1910年代にかけて、ベヴァリッジの先達たちが福祉国家の思想的基盤を固めていく方向である。第2に、1940年代から1960年代にかけて、ベヴァリッジ自身が福祉国家の強化・拡大を模索する方向である。

本研究は申請者の**ベヴァリッジ研究を核に据えたいうえでその殻を破り**、個人的自由の侵犯、経済的な非効率、共同体の不在、一国主義という福祉国家への批判に対し、真摯に回答することを目的とする。その過程で、個別思想を越えた「**福祉に関する時代精神・観念**」が抽出される。

2. 研究の進捗状況

本年度は3年目に当たり、最終年の前年である。上記の概要で、第一の方向に関しては多くの示唆的な研究成果をあげ、また将来につながる資料を発掘することができた。例えば、海外においてベヴァリッジおよびラヴィントンの経済思想および福祉思想を発表することができた。さらにケンブリッジ大学で、未公開資料(経済学部や常任評議会の議事録)を発掘することができた。特に後者の資料に関して、ケインズ・ベヴァリッジの「自由社会における計画と福祉」という内容の論文を執筆中である。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。第一の方向については、『経済思想のなかの貧困・福祉』(ミネルヴァ書房、2011)の編著として具体的に結実した。中でも「第4章 1910-20年代の福祉の経済思想」は成果そのものである。他方、第二の方向については、ハイエクの翻訳などで着手はされているものの、具体的な成果物としてはまだ挙がっていない

4. 今後の研究の推進方策

第一の方向性を精査していく中で、ケインズの原典に当たる機会に恵まれた(ケンブリッジ大学キングズ・カレッジ)。そこで、福祉を促進する「共同体」「中間組織」「自治組織」に関して、大いに啓発される一次資料を発見した。ゆえに、今後は、福祉が存続する条件の(C)共同体(徳)の条件を中心的に精査するのが効率的であろう。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[学会発表](計4件)

Atsushi KOMINE, The Second International Conference, 7 March 2011, Waseda University, Tokyo, : "Population, Poverty and Welfare in the History of Economic Thought: an International Comparison", "Beveridge on a Welfare Society: State, Market and Community".

Atsushi KOMINE, Cambridge Seminar in the History of Economic Analysis, 7 July 2010, Clare Hall, University of Cambridge, "Frederick Lavington on Big Business:

Normative Behaviour of Effective Entrepreneurship” .

Atsushi KOMINE, HES 2010 Annual Conference (History of Economics Society), 25 -28 June 2010, Syracuse University, New York, “ Beveridge on a Welfare Society: State, Market and Community ” .

Atsushi KOMINE, The Seventh STOREP Conference (Italian Association for the History of Political Economy), 30 May 1 June 2010, University of Trento, Italy, :The Shifting Boundaries between Public and Private in Economics, “ Beveridge on a Welfare Society: State, Market and Community ” .

〔図書〕(計3件)

小峯敦「なぜ経済思想から見た福祉なのか」(序章)小峯敦 編『経済思想のなかの貧困・福祉 近現代の日英における「経世済民」論 』ミネルヴァ書房、2011.3。

小峯敦「1910-1920 年代における経済思想」(第4章)小峯敦 編『経済思想のなかの貧困・福祉 近現代の日英における「経世済民」論 』ミネルヴァ書房、2011.3。

Atsushi KOMINE, "Beveridge on a Welfare Society: an Integration of his Trilogy", in Roger E. Backhouse and Tamotsu Nishizawa (eds.) *No wealth but Life: Welfare Economics and the Welfare State in Britain, 1880-1945*, Cambridge: Cambridge University Press, 298-316, April 2010.